

山形市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和4年11月4日(金) 10:00~11:00
場 所 山形市中央公民館 4階 大会議室
出席者 別紙名簿のとおり
傍聴者 無し

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

●協議事項

(1) 山形市コミュニティバス高瀬線の運行内容変更について 資料1

事務局より別紙資料に基づき説明。

⇒ 協議が調ったものとして合意した。

【主な意見等】

委員 下蔦の木町内は高齢化が進んでおり、住民の買い物や通院支援のため今回の運行内容変更はぜひお願いしたい。

委員 高瀬線の利用実績はどうなっているのか。

事務局 直近3カ年における年度ごとのべ利用者数は、令和元年度4,808人、令和2年度3,550人、令和3年度3,440人となっている。

委員 高瀬線の運行には国庫補助が充てられていると思う。費用効率が高い運行のあり方や、住民の足の確保に向けて山形県ハイヤー協会でも協力できることがあると思うので相談してほしい。

事務局 今後、高瀬地区の方を対象に普段の行先を把握し、住民のニーズに沿った運行内容となるよう検討していく。

議長 地域の方の足の確保を目的に、収支率の改善も見据えながら取り組みを進めたい。

●報告事項

(1) 山形市地域公共交通計画の取組について 資料2~資料5

事務局より別紙資料に基づき説明。

【主な意見等】

委員 新駅についてJRとの協議は進んでいるのか。

事務局 JRと意見交換を行っている。具体化に向けてさらに検討を進めたい。

委員 ホテルキャッスルの南側の歩道は自転車通行可能となっているのか。

委員 通行可となっている。(山形警察署)

委員 もともと事故が多いエリアであり、コミュニティサイクルの利用が増えれば事故が増えると思うが、対策としてどのようなことが考えられるか。

委員 検討すべき課題として認識しており、対策については道路管理者と協議が必要。限られた幅員の中でどのような方法が採れるか検討が必要。(山形警察署)

委員 あじさいバスの停留所ごとの利用実績は出ているか。

事務局 「ヨークベニマル南館店前」の利用が最多で、2～3便で行き、4～5便で帰るケースが多いようだ。「高橋胃腸科内科医院飯塚診療所前」での降車利用は、1便は少なく2便以降に散見される。

委員 コミュニティサイクルのサイクルポート「山形県庁前」「東北芸術工科大学」の利用状況はどうか。

事務局 「山形県庁前」と「東北芸術工科大学」の間を往来する利用があり、通学者による利用と考えられる。「東北芸術工科大学」で“借りる・返す”利用が多く、利用数はサイクルポート全体で上から3番目となっている。

4. その他

無し

5. 閉 会

令和4年度第3回山形市地域公共交通会議 出席者名簿

所属	職名	氏名	設置要綱上の構成員区分
山形市	企画調整部長	畑口 和久	山形市長
山交バス株式会社	営業部乗合課長	寒河江 晃一	一般乗合旅客自動車運送事業者
山形県バス協会	専務理事	小関 和夫	社団法人山形県バス協会
山形県ハイヤー協会	専務理事	山家 庸彰	山形県ハイヤー協会
山形県ハイヤー・タクシー協会	会長	青木 礼二	山形県ハイヤー・タクシー協会
山形地区ハイヤー協議会	会長	石川 康夫	山形地区ハイヤー協議会
高瀬地区コミュニティバス運行協議会	委員	石山 広義	住民又は利用者の代表
東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官	加藤 知美	東北運輸局山形運輸支局長
山形県交通運輸産業労働組合協議会		欠席	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
山形県村山総合支庁総務企画部 総務課連携支援室	連携支援主査	梶原 仁也	山形県村山総合支庁長の指名する者
国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所		欠席	道路管理者、山形警察署、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者
山形県村山総合支庁道路課	道路管理専門員	井上 和俊	
山形市都市整備部道路維持課	総括主幹（兼）課長補佐	齋藤 慎次	
山形警察署交通第一課	交通規制係長	伊藤 浩	
東北芸術工科大学		欠席	
山形市企画調整部企画調整課 交通政策室	室長	大沼 功	事務局
	副室長（兼）交通企画係長	宮城 友嘉	
	主任	大場 千華	
	主任	白壁 武憲	